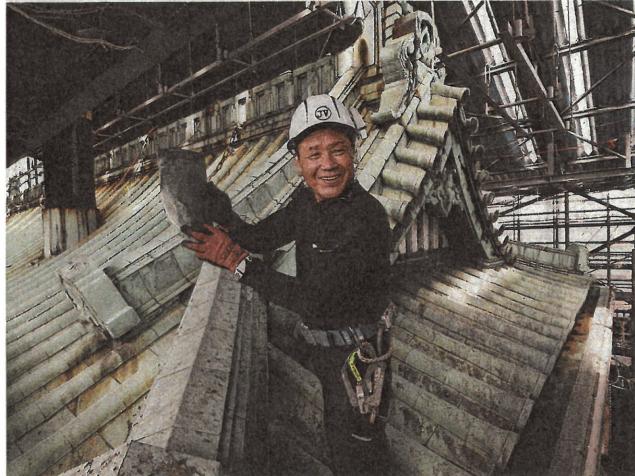


1932(昭和7)年	5月	青年将校らが首相を殺害 (五・一五事件)
1933(昭和8)年	3月	日本が国際連盟からの脱退を通告
	9月	名古屋市庁舎が完成
1935(昭和10)年	10月	県庁舎が着工
1936(昭和11)年	2月	青年将校らが首相官邸などを襲撃 (二・二六事件)
1937(昭和12)年	7月	盧溝橋事件を機に日中戦争勃発
1938(昭和13)年	3月	県庁舎が完成
	4月	国家総動員法が公布

県庁本庁舎が完成した
当時の経過表

仮屋根の内部＝県庁で

「鉄材はもとより諸材料一斉暴騰を來し、(略)國家経済は急速に戦時体制へ移行をなすところ……」

「鐵材はもとより諸材料一斉暴騰を來し、(略)現在の県庁本庁舎が完成し

「鐵材はもとより諸材料一斉暴騰を來し、(略)本庁舎は鉄骨鉄筋コンクリートの地下1階、地上6階建て。陶磁器の生産が盛んな土地柄から、外壁には

「鐵材はもとより諸材料一斉暴騰を來し、(略)タイルを使つてゐる。建物

「鐵材はもとより諸材料一斉暴騰を來し、(略)」

80年前驚きの技術力

兵衛(当時)が落成記念の冊子に寄せたものだ。困難な情勢の中で、3年近くかけて完成させたことに「弊社は文字通り総動員を以て昼夜兼行、鋭意献身的努力を傾注」と述べている。

タイルを使つてゐる。建物は一見西洋風だが、特徴的なのはやはり城郭風の屋根だ。『帝冠様式』と呼ばれる。

当時は「国威発揚の波に乗つて日本の伝統を建築に反映させる風潮が高まつていた」と眞は解説する。

乗つて日本を建築に反映させる風潮が高まつていた」と眞は解説する。格式のある建物は、映画やドラマの撮影に人気だ。9月、北側の屋根を覆う鉄製の仮屋根が初めて完成した。工事は戸田建設と神原建設(一宮市)の共同企業体が受注。地面から柱を立て、仮屋根を造る作業は、6月からという暑い時期に行われた。

「暑い」と思つたもの

はほかにある。工事に入ると、建物の直角度がどれだけ正確かを3Dスキャナの装置で測定した。東西約60㍍の長さで、すれば最大7㍍程度しかなかつた。目で測定していた80年以上前で、技術が現代に引けを取らないことに「ええ」と声が出たという。

「気温? 50度はあつたでしょう。鉄のまわりで作業してたから」。よく日焼けした笑顔で説明してくれたのは、戸田建設名古屋支店の山本千春さん(62)。工事の責任者を務める1級

建築士だ。準備期間を含めて昨年10月から、この工事にかかわってきた。9月中旬、山本さんの案内で作業現場に入った。何十年も前に作られた鬼飾りやタイルの精緻さを見て、山本さんは「いま、これどなたがき・ののは(5歳)らしさはない。ただ、『帝冠様式』と呼んで、南側の3カ所にあられる。9月、北側の屋根を覆う鉄製の仮屋根が初めて完成した。工事は戸田建設と神原建設(一宮市)の共同企業体が受注。地面から柱を立て、仮屋根を造る作業は、6月からという暑い時期に行われた。

「暑い」と思つたものはほかにある。工事に入ると、建物の直角度がどれだけ正確かを3Dスキャナの装置で測定した。東西約60㍍の長さで、すれば最大7㍍程度しかなかつた。目で測定していた80年以上前で、技術が現代に引けを取らないことに「ええ」と声が出たという。

先輩の確かな技術を紹介する山本さん。その表情は楽しげだった。



おなじゅく

(兄の小学校時の運動会のスマホ画像を見て)
孫 成君(兄)、幼い顔しつれて!
いながき・れん(11歳) =

半田市、祖母・石川京子
<どっちだ?>
孫 ばあちゃん、えくぼで
きる?
祖母 うん、できるよ。(二
コツと笑つてみせました)

孫 それ、えくぼ? しわ?
孫・弟 赤ちゃん、チヨキ
できる?
孫・姉 グーしているよ
たがき・ののは(5歳)ら
一緒に遊びたい

岡崎市、祖母・中根真由美
<一緒に遊びたい>
孫 いや(3歳) = 守山区、祖母
内で作業現場に入った。何
で撮影された。
対面です

孫・弟 赤ちゃん、チヨキ